

## 新機種紹介 機関連誌編集委員会

### ▶ 〈02〉 掘削機械

21-〈02〉-02	タグチ工業 油圧式ワンタッチカプラ ワンキャッチ OC-H OC-122H	'21.2 発売 新機種
------------	--	-----------------

油圧ショベル用アタッチメントの着脱(交換)を容易にするアタッチメント着脱装置である。

一般的なアタッチメントの着脱作業には、作業員あるいは補助作業員による手作業を伴うため、多くの時間と労力が必要となるほか、作業ミスや事故発生の危険性がある。これらの課題を解決するため、着脱装置を油圧ショベルアーム先端部へあらかじめ取付けておくことで、アタッチメントの着脱を容易にかつ安全に行うことができる(写真-1)。

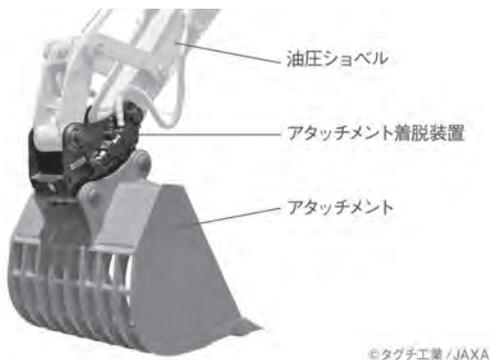


写真-1 タグチ工業 OC-122H ワンキャッチ取付全体

アタッチメント着脱装置には『固定側フック』と『可動側フック』があり、それぞれのフックをアタッチメントに装着された2本の取付ピンを内側から掛け合い、把持する事でアタッチメントの取付けが可能となり、取付ピンからフックを離反させる事でアタッチメントの取外しが可能となる(写真-2)。

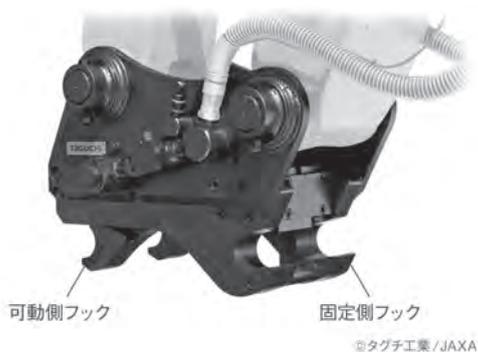


写真-2 タグチ工業 OC-122H ワンキャッチ各部名称

油圧シリンダが内蔵されており、この油圧シリンダが伸縮する事で可動側フックが作動する。作業員は運転席から可動側フックを操作することにより、アタッチメントの着脱を行うことができる。油圧シリンダを作動させるための追加配管は不要であり、既存のアタッチメント用油圧配管を本装置に接続するだけで使用が可能となる。

油圧シリンダを用いる事で危惧される事は、意図しない油圧降下により油圧シリンダの保持力が低下し、可動側フックがアタッチメント取付ピンから離反し、アタッチメントが脱落する危険性があることである。

本装置には、①油圧ホース破損による油圧降下時でも油圧シリンダの保持力が低下しないロック機構、②油圧シリンダの破損による内部リークの場合でも可動側フックが容易に作動しないロック機構、③固定側フックで把持したアタッチメント取付ピンが容易に外れないロック機構、の3つの『トリプルロック機構』が備わっている。これらのロック機構は作業員が直接手で触れて作動させる必要がなく、着脱操作に応じて自動で作動する『オートロック機構』となっている(写真-3)。

これらにより、着脱作業時の作業ミス、事故発生の危険性の減少や、安全性の向上、着脱作業の更なる効率化を図っている。



写真-3 タグチ工業 OC-122H ワンキャッチ 固定側フックロック機構

問合せ先：(株)タグチ工業

〒701-0151 岡山県岡山市北区平野 561 番地の 1

## 新機種紹介

### ▶ 〈16〉 高所作業車, エレベータ, リフトアップ工法, 横引き工法および新建築生産システム

20-〈16〉-03	カナモト アップロープラス APL-350-6M	'20.2 発売 新機種
------------	--------------------------------	-----------------

少人数, 人手不足の解消と天井高さの高い工場やショッピングセンターでの安全に効率の良い作業が出来るよう開発された機械である。揚程6mを実現するに当たり, マストをフルフリーリフトとし, 高さ制限により移動が不可能な場所では, マスト本体にチルト機構を持たせマストを斜めにする事により, 高さ制限がある場所での移動も可能にしている。この機械の最大の特徴は, 操作がリモコン式であり, 高さ6mまで揚重及び前後左右の移動もスイッチひとつで可能としている。又揚重の際に天井の位置が判るようにレーザーラインも装備している。安全装置として, 本体の傾斜角が3度以上になった場合, リフトの上昇が出来ないこと, 揚重物を1.5m以上上昇すると走行が停止もしくは, 走行不可となるよう安全にも配慮されている。新機能としてフォーク部が±50mm前後左右にスライドする機能を持たせると共に, スライド機能をロックしないと, 上昇機構が動かないようにプログラムされている。

又, ほかのリフター系には無い機能で横移動が出来るように前輪が90度回転するようにしていることと, フォーク部分に転がり防止用の輪留めがラチェット式で標準装備されている。従来, 高所での位置決めは, 難しい作業であったが, レーザーライン及びアップリフトのスライド機能を併用して使うことにより, 安全で敏速な作業が可能となっている。



写真-4 カナモト APL-350-6M アップロープラス

表-1 アップロープラスの主な仕様

最大荷重	350kg
揚げ高	6m
本体重量	860kg
全長	2,398mm
全高	2,675mm
全幅	1,000mm
フォーク長さ	1,200mm
フォーク間隔	1,000~1,500mm
フォーク可動域	500mm

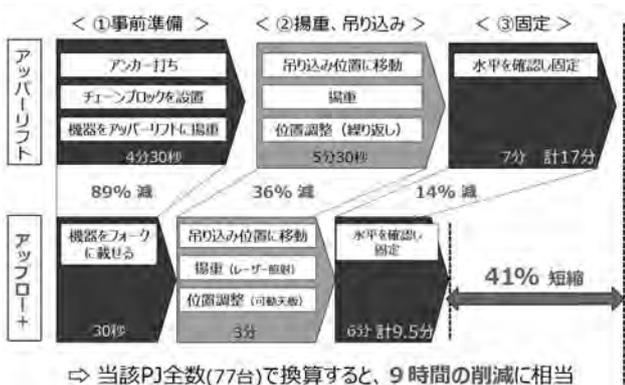


図-1

問合せ先: (株)カナモト ニュープロダクツ室  
〒105-0012 東京都港区芝大門 1-7-7  
TEL: 03-5408-5605